

Chapel News

2009年6月 No.5

「平文先生のこと」

日本プロテスタント宣教 150 周年にちなみ、平文先生のお話をしたいと思います。「平文先生」とは、日本で宣教医として、また明治学院院長などとして多方面で活躍し、キリスト教のみならず日本の近代化に大きな貢献をした J・C・ヘボン(1815-1911)のことです。「ヘボン式ローマ字」の創始者としても有名ですが、彼が編纂した日本最初の和英辞書『和英語林集成』(1867年初版)の表紙には「平文先生」と記されています。「ヘボン」を漢字で「平文」と置き換えたわけです。ちなみに、英語での綴りは Hepburn なので、本当は「ヘップバーン」です。そう、あのオードリー・春日、じゃなくてオードリー・ヘップバーンと同じですね。

彼は自らの財産をなげうって人々を無償で診療しました。眼科が専門だったのですが、ありとあらゆる医療活動に従事し名医として尊敬を集めました。「ヘボン大博士直伝」と勝手に銘打った目薬を売り出して大儲けした人もいたほどです。「ヘボンさんでも草津の湯でも恋の病は治りやせぬ」という俗謡も流行しました。「恋の病」以外ならどんな病気も治すことができたというわけです。

彼がまた心血を注いだのは聖書の翻訳でした。『和英語林集成』はそのための準備でもあったのです。他の宣教師や日本人と協力し、16年という長い年月と苦勞を重ね、ついに1887(明治20)年、旧新約聖書の日本語訳が完成しました。

この大事業について、彼はこのような感慨を手紙に記しています。「主が私を用い給うたこと以外、私は何の功績もありません。この成果は私が他の人々よりも才能があったためではありません。……私のような貧しい器を用いて、私がなそうとしたことを成就せしめ給うたことを主に感謝するのです。……イエスの足元にひざまずき、多くの弟子がしたように、イエスが私のためになし給うたことに対して感謝の涙をもってイエスの足を洗いたい。おお、もっとよくイエスを知り、もっと多くイエスを愛したいのです」。遠い異教の地日本における働きに生涯を捧げた「平文先生」の情熱は、イエス・キリストの愛と恵みに押し出されてのものであったということを改めて思い起こさせる言葉です。

(人文学部副チャプレン 柳田 洋夫)

★ ★ ★ 年間聖句 ★ ★ ★



よくよくあなたがたに言うておく。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。

(ヨハネによる福音書 第12章24節)



ペンテコステとは？



聖霊降臨日。キリストの約束どおり、弟子たちの上に聖霊がくだった日で、復活日から50日目の日曜日。ペンテコステとはギリシャ語で「第50」のこと。クリスマス(降誕日)、イースター(復活日)とともに教会の3大祝日です。聖霊が降臨することで、弟子たちが神の言葉を語りはじめ、新しい真の神の民、キリストの教会が生まれました。



<聖霊>について

聖霊というと、とても抽象的でつかみどころのない概念という印象がありますが、ヘブライ語では聖霊を、ルーアハ(ruach)と言い、動く空気、すなわち風や息を意味します。

それで聖書では、聖霊を神の息と考えています。神からの風は、神の怒りや神の優しい心遣いを表すものと受け取られていました。私たちも神の息としての風を受けて、謙虚さと共に生きる勇気と希望を与えられたと思います。

キリストが昇天された後、預言通り主の霊として聖霊が弟子たちの上にくんだり、教会とキリスト者を生み出す力となったのです。「御霊よ、来りませ」これが今の私達の祈りです。

— 日本国際ギデオン協会 聖書受領式 — (6月4日)

ギデオン協会は、学校やホテル、病院やその他の施設に聖書を贈呈して、キリストの福音を伝道している奉仕団体です。その費用はすべて会員の献金でまかなわれています。会員の方々は、ただキリストの福音のために、時間と労力と財を献げて奉仕しておられます。文字通り「神を仰ぎ、人に仕う」人生を送っておられる方々です。



全学礼拝プログラム<6月2日~6月5日>

6月2日(火)		6月3日(水)	
奨励者	標 宣 男 先生 (基礎総合教育部長・就職部長)	ペンテコステ礼拝【中国語】	
司会者	柳田 洋夫 先生	奨励: 李 秀雲 先生 (埼玉中国語礼拝伝道所牧師)	
奏楽者	川添美央子 先生	司会: 沈 育祺 姉 108W 奏楽: 清水 貴子 姉	
讃美歌	545(下)番、326 番 《SPO 讃美奉献》 “Harre, meine Seele”	讃美歌 539 番、461 番(中国語)	
聖 書	テモテへの第二の手紙 第 4 章 2 節(新約 P.336)	創世記 第 9 章 18~19 節	
奨励題	「時が良くて悪くても」	「羈絆的驚訝(つながる驚き)」	

6月4日(木)		6月5日(金)	
奨励者	飯田 潔氏・和氣三郎氏 —日本国際ギデオン協会—	小池 茂子 先生 (児童学科准教授)	
司会者	左近 豊 先生	阿部 洋治 先生	
奏楽者	谷口 千穂 姉	佐野 正子 先生	
讃美歌	《聖書受領式》 546 番、527 番	539 番、333 番	
交読文		交読文 24(詩 100 篇)	
聖 書	詩篇 第 23 篇 1~3 節(旧約 P.766)	ヨハネによる福音書 第 2 章 1~11 節(新約 P.137)	
奨励題	「私には乏しいことはありません」	「カナの婚礼での奇跡」	

☆☆ 聖学院教会 祈祷会 ☆☆

【木曜日 18時30分~19時30分 於 緑聖ホールC室】

6月4日 イザヤ書 2章 濱田 辰雄 牧師
6月11日 イザヤ書 3章 東野 尚志 牧師

全学礼拝プログラム<6月9日~6月12日>

6月9日(火)		6月10日(水)	
奨励者	K.O.アンダスン 先生 (欧米文化学科教授)	石津 靖大 先生 (児童学科准教授)	
司会者	左近 豊 先生	柳田 洋夫 先生	
奏楽者	渡辺 善忠 先生	大井 恵子 姉	
讃美歌	【英語礼拝】 II 152 番、 英語讃美歌 25 番	541 番、517 番(2 節)	
交読文		交読文 29(詩 121 篇)	
聖 書	John(ヨハネによる福音書) 第 3 章 16 節	マタイによる福音書 第 11 章 28~30 節(新約 P.17)	
奨励題	「From “Greensleeves” to 古いものはみな :A Christmas Hymn」	「遠くを……見ていると」	

6月11日(木)		6月12日(金)	
奨励者	平野 信二 先生 (日本ホーレス教団熊谷教会/栃木教会牧師)	秋山 真奈 姉 (教務課職員)	
司会者	菊地 順 先生	佐野 正子 先生	
奏楽者	相川 徳孝 先生	荻野路津子 姉	
讃美歌	543 番、354 番	【英語礼拝】 英語讃美歌 25 番、 英語讃美歌 28 番	
交読文	交読文 38(イザヤ書 40 章)	Proverbs(箴言)	
聖 書	コロサイ人への手紙 第 1 章 9~17 節(新約 P.314)	第 3 章 5~6 節	
奨励題	「神の主権の下に生きる」	「Who Do You Trust?」	

- 主の祈り -

天にましますわれらの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ、
み国をきたらせたまえ、
みこころの天になるごとく、
地にもなさせたまえ、
我らの日用の糧を今日も与えたまえ、
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ、
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ、
国とちからと栄えとは、
限りなくなんじのものなればなり

アーメン